



小雀公園 里山通信



Vol.37 ビオトープの作り直し



小雀公園は高低差がある公園で、下に降りていくと湿地が広がる自然豊かな公園であることを、近くに住んでいても意外と知らない人もいたりします。公園には来られるけれど、テニスをしに来るだけなんて方も多いので、自然にもっと興味を持ってもらいたいということで、2012年にレストハウスのそばに小さな池を作り、動植物が観察できるビオトープを作りました。ビオトープにはすぐにトンボが訪れ、やがて山伝いにやってきたヒキガエルが卵を産んだり、鳥が水浴びをしたりと、小さな生き物の生息環境が出来上がりました。

ところが防水シートの劣化が進み、去年はとうとう水が完全に抜けてしまう状態になってしまいました。そこで植物の芽吹きや新しい命が生まれる季節がやってくる前に、ビオトープを作り直すことにしました。

古い防水シートをはがして池の形を整え、新しい防水シートを張ってから、植物が育つようにシートの上を土で覆いました。そして水を張ったら完成です。言葉で伝えるとたったこれだけですが、ひとつひとつの作業には、ベテラン造園師の知恵と工夫がぎっしり詰まっています。

今はまだ生き物はいないし植物もまばらですが、土に含まれた種や根から芽吹きが始まり、じきに生き物も集まってくることでしょう。生まれたてのビオトープに命が宿っていく様子を、これからみんなでじっくり観察していきましょう！



完成！！早く草が芽生え、生き物がやってきますように！



池の形成
凹凸のない、滑らかな表面仕上げに



防水シート張り



より自然な池にするために、シートを土で覆います



小雀公園 ☎045-853-1945
<https://midocomi.com/kosuzumepark.html>
 横浜市指定管理者 緑とコミュニティーグループ

